

平成25年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善委員会

報 告 書

平成26年2月

I 報告書の作成にあたって

本報告書の作成にあたっては、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成することに特に留意した。

報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

（結果の公表）

第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

（改善策の立案）

第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会教育研究室「算数・数学学習指導研究委員会」及び「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

Ⅱ 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 実施主体 文部科学省

3 参加主体 市町村教育委員会

4 調査の対象

【小学校調査】

- ・ 小学校第 6 学年、特別支援学校小学部第 6 学年

【中学校調査】

- ・ 中学校第 3 学年、中等教育学校第 3 学年、特別支援学校中学部第 3 学年

5 調査事項及び手法

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

国語、算数・数学はそれぞれ「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」を出題。

i) 主に知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

ii) 主に活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

6 調査の方式 悉皆調査

7 調査期日 平成25年4月24日（水）

8 4月24日に調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児 童 数 （人）				
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	質問紙
全国（国公立）	1,121,137	1,120,968	1,121,164	1,121,003	1,121,128
全国（公立）	1,108,245	1,108,075	1,108,272	1,108,107	1,108,234
秋田県（公立）	8,178	8,176	8,178	8,176	8,175
仙北市教育委員会	215	214	215	214	214

中学校生徒数	生 徒 数 （人）				
	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	質問紙
全国（国公立）	1,070,187	1,070,833	1,070,833	1,070,792	1,070,800
全国（公立）	1,026,851	1,027,087	1,027,458	1,027,411	1,027,430
秋田県（公立）	8,720	8,718	8,716	8,716	8,717
仙北市教育委員会	221	221	221	221	221

調査実施校数	4月24日に調査を実施した小学校、 特別支援学校小学部	4月24日に調査を実施した中学校、 中等教育学校 特別支援学校中学部
全国（公立）	20,418校	9,752校
全国（国立）	74校	77校
全国（私立）	98校	355校
合計	20,590校	10,184校
秋田県（国公立）	226校	122校
仙北市教育委員会	7校	5校

Ⅲ 結果

1 教科に関する調査の結果

(1)概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれ「A：主として知識」及び「B：主として活用」の区分で比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分の視点から比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ①全国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学の学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ②全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年国語A・国語B、算数A・算数B、中学校3年国語A・国語B、数学A・数学Bの8項目で仙北市が上回っている。
- ③仙北市の平均正答率をみると、小学校6年「B：主として活用」が良好な状況である。

【課題】

- ①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年国語A・国語B、算数A・算数B、中学校3年の国語A・国語B、数学A・数学Bのすべてで仙北市が－2～－4.6の幅で下回っている。
- ②仙北市の「国語A」－「国語B」、「算数A」－「算数B」及び「数学A」－「数学B」の平均正答率格差をみると、中学校3年数学において、全国及び秋田県の格差よりも大きく、課題がある。

〈表 1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科・問題別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年生	国語A：主として知識	全国(公立)	62.7%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	71.7%	概ね満足できる状況
	国語B：主として活用	全国(公立)	49.4%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	59.1%	概ね満足できる状況
	算数A：主として知識	全国(公立)	77.2%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	82.8%	概ね満足できる状況
中学校 3年生	算数B：主として活用	全国(公立)	58.4%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	67.1%	概ね満足できる状況
	国語A：主として知識	全国(公立)	76.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	81.9%	概ね満足できる状況
	国語B：主として活用	全国(公立)	67.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	74.6%	概ね満足できる状況
	数学A：主として知識	全国(公立)	63.7%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	68.9%	概ね満足できる状況
	数学B：主として活用	全国(公立)	41.5%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	47.5%	概ね満足できる状況

※〈表 1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表 2〉の表現にしたがって示した。

〈表 2〉：〈表 1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が＋6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が＋5%以下～－5%以上であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が－6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表 2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第 3 条（別表 2）による。

(2)設問分類・区分別集計結果から

本調査における全国及び秋田県の「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」別の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ①〈表3－(1)〉～〈表3－(9)〉にあるように、「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較してみると、小学校6年国語A・国語B、算数A、中学校3年国語A・国語B、数学A・数学Bの7項目において、「概ね満足できる状況」或いは「十分満足できる状況」である。
- ②同様に全国の平均正答率と仙北市の比較からは以下のことが言える。
 - ア)「小学校6年国語A」では、「学習指導要領の領域」の4区分、「評価の観点」の5区分、「問題形式」の3区分の計12区分のうち、7区分が「十分満足できる状況」である。
 - イ)「小学校6年国語B」では、12区分のうち、7区分が「十分満足できる状況」である。
 - ウ)「小学校6年算数A」では、8区分のうち、1区分が「十分満足できる状況」である。
 - エ)「小学校6年算数B」では、10区分のうち、5区分が「十分満足できる状況」である。
- ③仙北市の状況の中で小学校6年については以下のことが言える。
 - ア)「国語」については、「A：主として知識」では「学習指導要領の領域」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」が、「問題形式」の「記述式」が良好な状況である。また、「B：主として活用」では「学習指導要領の領域」の「書くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」が、「問題形式」の「短答式」「記述式」が良好な状況である。
 - イ)「算数」については、「A：主として知識」では「学習指導要領の領域」の「図形」が良好な状況である。また、「B：主として活用」では、「学習指導要領の領域」の「数と計算」「数量関係」が、「評価の観点」の「数学的な考え方」が、「問題形式」の「短答式」「記述式」が良好な状況である。

④仙北市の状況の中で中学校３年については以下のことが言える。

ア)「国語」「数学」の全ての区分について、全国との比較において「概ね満足できる状況」である。

【課題】

①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から比較した場合、次のような課題がある。

ア) 中学校３年「国語」「B：主として活用」では「学習指導要領の領域」の「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、「評価の観点」の「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」が、「問題形式」の「記述式」が「改善が必要な状況」であり、課題がある。

イ) 中学校３年「数学」「B：主として活用」では「評価の観点」の「数学的な技能」が、「問題形式」の「短答式」が「改善が必要な状況」であり、課題がある。

〈表 3－(1)〉：「小学校 6 年国語 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の 指 領 導 域 要 領	話すこと・聞くこと	1	56.8	43.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書くこと	4	64.0	53.0	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	3	71.7	60.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 5	71.2	62.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	国語への関心・意欲・態度	1	58.9	44.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	1	56.8	43.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書く能力	4	64.0	53.0	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	3	71.7	60.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1 5	71.2	62.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 形 式	選択式	7	74.4	66.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1 0	71.1	61.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	1	58.9	44.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(2)〉：「小学校 6 年国語 B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の 指 領 導 域 要 領	話すこと・聞くこと	3	72.7	64.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	4	53.6	43.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	4	58.5	47.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	74.6	63.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	国語への関心・意欲・態度	2	51.6	42.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	3	72.7	64.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	4	53.6	43.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	4	58.5	47.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1	74.6	63.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 形 式	選択式	3	67.5	59.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	5	57.0	45.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	2	51.6	42.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(3)〉：「小学校 6 算数 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	数と計算	8	86.4	80.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	4	73.5	68.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	3	80.2	72.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量関係	4	86.8	83.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
の評価観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	0				
	数量や図形についての技能	8	91.1	86.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	1 1	76.8	70.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	8	74.4	68.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1 1	88.9	83.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3－(4)〉：「小学校 6 算数 B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	数と計算	3	61.7	48.3	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	量と測定	7	63.8	56.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	3	82.7	79.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	7	64.3	54.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
の評価観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	8	58.0	46.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量や図形についての技能	1	80.2	76.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	4	81.9	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	4	77.5	73.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	4	71.7	61.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	5	55.1	43.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3－(6)〉：「中学校 3 国語 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	話すこと・聞くこと	4	82.1	77.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	4	73.2	64.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	6	84.8	80.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1 8	82.9	77.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
の評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	4	82.1	77.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	4	73.2	64.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	6	84.8	80.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1 8	82.9	77.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	2 1	82.3	77.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1 1	81.1	74.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3－(7)〉：「中学校 3 年国語 B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	話すこと・聞くこと	0				
	書くこと	3	71.7	62.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読むこと	8	74.6	67.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	74.6	64.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
の評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	71.7	62.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	話す・聞く能力	0				
	書く能力	3	71.7	62.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読む能力	8	74.6	67.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1	74.6	64.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	5	74.4	68.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1	83.9	77.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	71.7	62.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3－(8)〉：「中学校 3 年数学 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導要 領の領 域	数と式	1 1	78.4	72.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	1 2	70.1	64.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	9	63.4	58.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	4	51.3	46.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観の 点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	0				
	数学的な技能	1 7	73.9	67.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	1 9	64.4	59.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	1 8	66.4	61.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1 8	71.4	66.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3－(9)〉：「中学校 3 年数学 B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導要 領の領 域	数と式	5	47.5	41.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	2	48.5	44.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	6	45.2	40.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	3	51.3	42.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観の 点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	1 2	40.2	34.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数学的な技能	2	58.7	53.1	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	2	80.3	70.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	4	46.4	43.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	5	62.7	55.8	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	記述式	7	37.3	30.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

(3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものについて示す。

①小学校6年「国語」A:主として知識について

ア)「設問番号 1 一 (3)」「漢字を読む (めずらしい植物を採集する)」では、「学年別漢字配当表」に示されている漢字を正しく読む」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 3 一」「文のはじめの 5 文字を丸で囲む」では、「文の定義を理解する」に課題がある。他の設問と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 6 アイ」「焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する」では、「俳句の情景を捉える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 2 一」「ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)」では、「ことわざの意味を理解する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号 1 二 (2)」「漢字を書く (バスがていしやした)」では、「学年別漢字配当表」に示されている漢字を正しく書く」に課題がある。他の設問と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 3 二 (1)」「接続語を使って 1 文を 2 文に分けて書く」では、「文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

②小学校6年「国語」B:主として活用について

ア)「設問番号 1 二」「6 年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する」では、「話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」、「評価の観点」では「話す・聞く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- イ)「設問番号 3 ア」【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く」では、「2 人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

③小学校6年「算数」**「A:主として知識」**について

- ア)「設問番号 1 (2)」 $0.75 + 0.9$ を計算する」では、「小数の加法の計算をすることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- イ)「設問番号 6」「三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ」では、「三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ウ)「設問番号 3」「除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ」では、「余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- エ)「設問番号 2」「一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ」では、「示された位までの概数にする際、一つ下の位の数に四捨五入して処理する方法について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

④小学校6年「算数」**「B:主として活用」**について

- ア)「設問番号 4 (1)」「ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く」では「単位当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「量と測定」、「評価の観点」

では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- イ)「設問番号 1 (1)」「残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く」では「情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ウ)「設問番号 2 (1)」「示された式の値が何を表しているのかを書く」では「示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

⑤中学校3年「国語」A:主として知識について

- ア)「設問番号 1 二」「話合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する」では、「話合いの方向を捉えて司会の役割を果たす」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」、「評価の観点」では「話す・聞く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- イ)「設問番号 8 - 2」「漢字を書く」では、「分脈に即して漢字を正しく書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ウ)「設問番号 7 一」「比較の対象が明確に分かるように書く」では、「伝えたい事柄を明確にして書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- エ)「設問番号 8 二 2」「漢字を読む」では、「分脈に即して正しく漢字を読む」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- オ)「設問番号 2 二」「『あの枯草の梢を……うれしげであることだろう。』と筆者が感じた理由を説明したものとして適切なものを選択する」では、「描写の効果を考え、内容を理解する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む

能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 7 二」「内容に応じて第二段落を二つに分ける」では、「段落の役割を考えて文章を構成する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

キ)「設問番号 8 三カ」「適切な語句を選択する」では、「語句の意味を理解し、分脈の中で適切に使う」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

⑥中学校3年「国語」**B:主として活用**について

ア)「設問番号 1 三」「『かるた』について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く」では、「課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 3 三」「間違いやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する」では、「漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 2 三」「文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く」では、「文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

⑦中学校3年「数学」**A:主として知識**について

ア)「設問番号 6 (2)」「五角形のある頂点における外角の大きさを求める」では「多角形の外角の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 4 (2)」「角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ」では

「角の二等分線の作図方法を、図形の対称性に着目して見直すことができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 1 2」「一次関数の事象を式で表す」では「具体的な事象から、 x と y の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる」に課題がある。他の設問と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 5 (3)」「球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ」では「球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号 3 (2)」「 $2x + y = 6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ」では「二元一次方程式の解の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 1 1 (1)」「一次関数 $y = 2x - 1$ について、 x の値が 3 のときの y の値を求める」では「一次関数の式について、 x の値に対応する y の値を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

キ)「設問番号 1 5 (1)」「1 枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ」では「確率の意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「資料の活用」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

⑧中学校3年「数学」B:主として活用について

ア)「設問番号 6 (1)」「1 辺に 5 個ずつ基石を並べて正三角形の形をつくったときの、基石全部の個数を求める」では「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 2 (2)」「2 けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入

れかえた数との和について予想した事柄を表現する」では「発展的に考え、予想した事柄を説明することができる」に課題がある。他の設問と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 3 (1)」 「水を熱し始めてから 10 分間で上がった温度を求める」では「与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 1 (1)」 「15 歳の優子さんの安静時心拍数が 80 のときの目標心拍数を求める」では「与えられた情報を言葉で表された式に基づいて処理することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号 3 (2)」 「与えられた表やグラフを用いて、水温が 80℃になるまでにかかる時間を求める方法を説明する」では「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」に課題がある。他の設問と比較して無解答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 6 (3)」 「基石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する」では「事象と式の対応を的確に捉え、事象が成り立つ理由を説明することができる」に課題がある。他の設問と比較して無解答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

(1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。

全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向が強くみられる。

特に「向上心・自己有用感」「地域への愛着」「学習に対する意欲・学習の有用感」「規範意識・礼儀・思いやり・他者意識」「基本的生活習慣・基本的学習習慣」に望ましい傾向があるといえる。

(2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

小学校6年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

質問事項	仙北市児童の 肯定的回答率
朝食を毎日食べていますか	98.6%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.9%
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	98.1%
将来の夢や目標を持っていますか	97.2%
家の人（兄弟姉妹除く）と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか	93.0%
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	96.8%
家で、学校の宿題をしていますか	98.1%
家で、学校の授業の復習をしていますか	91.6%
学校に行くのは楽しいと思いますか	92.5%
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	98.1%
学校のきまりを守っていますか	95.4%
人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか	97.7%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.6%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.1%
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	92.1%
国語の勉強は大切だと思いますか	95.8%
国語の授業の内容はよく分かりますか	90.2%
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.8%
算数の勉強は大切だと思いますか	96.3%
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.8%
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	93.5%

※ 本市平成21年度報告書、平成24年度報告書との比較から

質問紙調査による調査内容は年度による異同もあるが、次にあげる質問事項は平成21年度、平成24年度、平成25年度と仙北市児童の肯定的回答が90%を超えているものである。仙北市の学校・家庭・地域の継続した教育活動、また、児童の特長の表れと捉えられる。

「学習に対する意欲・学習の有用感」「学校生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 家で学校の宿題をしていますか。
- ・ 学校で友達に会うのは楽しいですか。
- ・ 国語の勉強は大切だと思いますか。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
- ・ 算数の勉強は大切だと思いますか。
- ・ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

「規範意識・思いやり・向上心・社会貢献・自己有用感」に望ましい傾向が見られる。

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。
- ・ 将来の夢や目標を持っていますか。
- ・ 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- ・ 学校のきまりを守っていますか。
- ・ 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

「基本的生活習慣・基本的学習習慣」「家庭生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 朝食は毎日食べていますか。
- ・ 家の人（兄弟姉妹除く）と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか。

「地域に対する興味・関心、愛着」に望ましい傾向が見られる。

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおり。（県との割合との差は参考のために示した。）

質問事項	全国との差
	秋田県との差
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	+13.8
	+4.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+24.8
	+5.1
家で、学校の授業の予習をしていますか	+24.6
	+4.5
家で、学校の授業の復習をしていますか	+40.2
	+2.6
今住んでいる地域の行事に参加していますか	+15.5
	+0.6

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	+1 2. 3
	+2. 3
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	+1 8. 9
	+5. 3
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていますか	+1 8. 1
	+4. 5
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	+1 0. 6
	+1. 2
国語の勉強は好きですか	+2 3. 4
	+1 1. 9
国語の授業の内容はよく分かりますか	+1 0. 3
	+4. 1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり。書いたりしていますか	+2 2. 8
	+4. 4
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	+1 8. 4
	+4. 4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	+1 5. 2
	+2. 7
国語の授業で文章を読むとき、段落やまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	+1 2. 7
	+2. 9
算数の勉強は好きですか	+1 4. 7
	+5. 2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	+1 0. 7
	+3. 1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	+1 0. 5
	+2. 0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	+1 6. 0
	+1. 5
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	+1 1. 0
	+3. 0

※ 本市平成21年度報告書、平成24年度報告書との比較から

質問紙調査による調査内容は年度による異同もあるが、次にあげる質問事項は平成21年度、平成24年度、平成25年度と仙北市児童の肯定的回答が全国児童の肯定的回答を10ポイント以上上回っているものである。仙北市の学校・家庭・地域の継続した教育活動、また、児童の特長の表れと捉えられる。

「学習に対する意欲・学習の有用感」「学校生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。
- ・ 家で、学校の授業の予習をしていますか。
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか。
- ・ 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていますか。
- ・ 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

「地域に対する興味・関心、愛着」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校 6 年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校 6 年生の肯定的回答の割合を比較して、差が + 3 ポイント以上のものは次の表のとおり。

質問事項	秋田県との差
国語の勉強は好きですか	+ 1 1 . 9
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしていますか	+ 6 . 0
家の手伝いをしていますか	+ 5 . 3
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	+ 5 . 3
算数の勉強は好きですか	+ 5 . 2
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+ 5 . 1
将来の夢や目標を持っていますか	+ 4 . 6
家で、学校の授業の予習をしていますか	+ 4 . 5
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	+ 4 . 5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	+ 4 . 4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	+ 4 . 4
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	+ 4 . 4
国語の授業の内容はよく分かりますか	+ 4 . 1
学校に行くのは楽しいと思いますか	+ 3 . 2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	+ 3 . 1
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	+ 3 . 0

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

中学校3年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

質問事項	仙北市生徒の肯定的回答率
朝食を毎日食べていますか	96.8%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.0%
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.0%
家の人（兄弟姉妹除く）と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか	90.1%
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	92.3%
家で、学校の宿題をしていますか	94.6%
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	94.6%
学校の規則を守っていますか	95.5%
人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか	96.8%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	93.7%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.0%
国語の勉強は大切だと思いますか	94.6%
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	97.7%

※ 本市平成21年度報告書、平成24年度報告書との比較から

質問紙調査による調査内容は年度による異同もあるが、次にあげる質問事項は平成21年度、平成24年度、平成25年度と仙北市生徒の肯定的回答が90%を超えているものである。仙北市の学校・家庭・地域の継続した教育活動、また、生徒の特長の表れと捉えられる。

「学習に対する意欲・学習の有用感」「学校生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 家で、学校の宿題をしていますか。
- ・ 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。
- ・ 国語の勉強は大切だと思いますか。
- ・ 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

「規範意識・思いやり・向上心・社会貢献・自己有用感」に望ましい傾向が見られる。

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。
- ・ 学校の規則を守っていますか。
- ・ 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか。
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

「基本的生活習慣・基本的学習習慣」「家庭生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 朝食を毎日食べていますか。
- ・ 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校３年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校３年生の肯定的回答の割合を比較して、差が＋１０ポイント以上のものは次の表のとおり。（県との割合との差は参考のために示した。）

質問事項	全国との差
	秋田県との差
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+19.7
	+5.4
家で、学校の授業の復習をしていますか	+32.9
	-1.0
今住んでいる地域の行事に参加していますか	+26.7
	+19.5
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	+16.0
	+4.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	+14.4
	+3.3
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていますか	+15.7
	-2.5
普段の授業では、生徒の間で話し合っている活動をよく行っていると思いますか	+17.2
	-2.3
読書は好きですか	+10.5
	+0.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	+21.1
	-0.5
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	+14.4
	-4.3
国語の授業で文章を読むとき、段落やまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	+13.8
	+1.3

※ 本市平成２１年度報告書、平成２４年度報告書との比較から

質問紙調査による調査内容は年度による異同もあるが、次にあげる質問事項は平成２１年度、平成２４年度、平成２５年度と仙北市生徒の肯定的回答が全国生徒の肯定的回答を１０ポイント以上上回っているものである。仙北市の学校・家庭・地域の継続した教育活動、また、生徒の特長の表れと捉えられる。

「学習に対する意欲・学習の有用感」「学校生活」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか。

「地域に対する興味・関心、愛着」に望ましい傾向が見られる。

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校３年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校３年生の肯定的回答の割合を比較して、差が＋３ポイント以上のものは次の表のとおり。

質問事項	秋田県との差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	＋１９．５
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	＋５．４
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	＋４．８
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	＋３．３
家の人（兄弟姉妹を除く）と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか	＋３．１
家の手伝いをしていますか	＋３．０

Ⅳ 改善の方法

1 全体的な取組として

本委員会では、仙北市全体の状況を踏まえて、一層の確かな学力の向上と授業改善の方向性について、現在仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策をもとに意見交換を行った。

先に、本調査の教科に関する調査結果で、仙北市の課題として捉えられ改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものを挙げたが、その課題と捉えられた設問を「学習指導要領の領域」の区分を観点として見直すと、小学校国語Aについては課題として捉えられた設問6問の全てが「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と関連の深い設問である。また中学校国語Aについても同様の傾向が見られ、課題として捉えられた設問7問中の3問が「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と関連の深い設問であり、課題と捉えられる区分の中では最多である。なお、中学校3年国語Bの課題として捉えられた設問3問の全てが「書くこと」と関連の深い設問であった。算数・数学に関しては算数A・Bで課題として捉えられた設問の計7問中の4問が「数と計算」、3問が「数量関係」であり、数学A・Bで課題として捉えられた設問の計13問中の5問が「関数」、4問が「数と式」であり、課題として捉えられる割合が高くなっている。数学Aでは7問中の3問が「図形」にかかわる問題であった。

昨年度、本市の課題として「学習活動間の接続や学習して得た複数の知識を活用することを児童生徒が意識できる学習を構築する必要がある」ことを挙げた。今年度の調査により、活用を支える「知識（基礎的、基本的な事項）の確実な習得、定着」が本市の課題となっていることが明らかとなった。

また、仙北市中学校3年国語Bについて挙げられた課題の3点全てが「書くこと」であったことと数学Aで課題となる割合の高かった設問が「図形」であったことから、音声言語では一定の説明ができるが、文字言語での説明ができない、という本市の生徒の実態がうかがえるところである。情報を整理し記述するための論理的思考を育む学習過程が重視されなければならない。

これらの現状を踏まえ、授業改善については5つの視点から、全校体制の取組については3つの視点から、さらに授業以外の時間の活用の視点から、今後の仙北市各校が共通理解の上、現状を改善していくために実践されるべき方策を以下に示す。

1 授業改善の視点から

(1) 育てたい力を明確にした授業構築

1単位時間の授業を、日常生活、社会生活での課題解決のための演習と捉え、課題解決のための論理的思考過程を体験、習熟するための時間とする。そのためには、児童生徒が、自分が現在、何のために、何をしていた、それが何に結び付いているのかを熟知している必要がある。

- 学習の「めあて」を明確にし、授業の終末段階では「めあて」に対応した「まとめ」が明解な形で表されることによって、授業時間のゴール（その学習時間にどのような力を身につけていけばよいのか）を明確にする。
- 導入段階では、児童生徒が学習の見通しを持てるようにする。
- 終末に、その授業で習得したことが活用される練習課題に取り組む。
- 児童生徒が本時の学習内容を自分の言語で捉えるための「振り返り」では、学習への興味関心に留まらず教科の専門用語が生かされるように配慮することによって、「めあて」に対応した振り返りになるようにする。
- 児童生徒の課題意識を高めるために、授業への導入には日常生活、社会生活の体験が生かされるように工夫する。
- 学習した内容が児童生徒個々の生活を想起しやすい資料の活用を図り、学習で得た知識が日常生

活で活用される機会をつくる。

- 課題解決のための「課題を把握し、理解する」「必要な情報を収集、選択し、個で考えを持つ」「教科の専門用語を用いながら考えを言語化し、他に伝えることで確固としたものにする」「他者の考えとの比較検討を通し、考えを深め、自分の変容に気づく」「教科の専門用語を用いて学習内容をまとめ、他で生かせる場面を探る」の思考過程を、カード等を用いて児童生徒に明示し、1単位時間の授業過程の中で、どの過程を学習しているのかを明らかにする。

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動の充実

- 教師・児童生徒の双方に多様な考えが出る内容について話し合えるような必要性のある話し合い活動を多く取り入れるのみならず、話し合い活動に取り組んでいるという実感を児童生徒が持つことができるように工夫する。具体的には、小グループで話さなければならない状況をつくる。
- 話し合い活動を多く取り入れるのみならず、視点を明確にした話し合い活動を指せる。具体的には、聞き手については話し手の意図を理解した聞き手となるように指導する。話し手については、聞き手の反応から考えを深められるように指導する。
- 教育活動の全てを通じて、話し合いにおける司会者を計画的・系統的に育成する。
- 基礎の話型を提示するとともに、話し方、聞き方の具体的な姿を明示する。
- 日常生活においても主語、述語、接続語、句読点を意識できるような指導をする。
- 教科の専門用語を身につけさせる工夫をし、その用語やキーワードを基に自分の考えを文章で結論としてまとめるなどの活動を取り入れる。
- 新聞・パンフレット・ガイドブックなど自分の考えをまとめて書くための、分析する力、読み解く力を育成する多様な活動を取り入れる。
- 文章の構成をとらえ、必要な情報を取り出す活動を重視する。
- 音読を重視し、発声することによって理解を進める時間を確保する。
- ICT機器の活用を推進する。
- 学習課題について、自分の予想を明確にし、自分の予想と学習結果を結び付けて自分の言葉でしっかり表現できるように指導する。

(3) 児童・生徒の「問い」を生かした授業

- 学習計画は教師、児童生徒の学習参加者全員で考えることを基本とする。
- 子ども達の思いを生かしながら課題を設定するために、初発の感想を生かした授業づくり、また、ノート記録等を用いて既習内容を確認し、疑問、課題等をはっきりさせてからの授業づくりをする。
- 児童生徒の生活体験に結び付けた予想や問いを大事にし、「つぶやき」を生かした学習課題を設定する授業をできるだけ取り入れる。

(4) 児童・生徒の学習意欲に結び付く指導

- 学び合い、認め合う授業を構築することによって児童生徒の学習意欲を高めるためにも、児童生徒が聞き手として積極的に反応する授業を進める。
- 学習内容が日常生活に関連していることに気が付くことができる授業展開をする。
- 「めあて」と「ゴール」の符合により、その学習時間の充足感が次時の学習時間の意欲につながるようにする。
- ゴールをコンパクトにし、みんなで、みんなができるようになる授業づくりをする。
- 適切な発展的・応用的な課題を設定し、さらに意欲・関心を引き出す工夫をする。
- 学び合いの時間についてその意義を児童生徒がよく理解し、自己有用感を持つ中で学習に取り組

めるようにする。

- 理科では実験材料を多く準備し、児童生徒のアイディアで実験できる環境づくりをする。
- 習得した知識をより多く活用できる学習を進めるために、習熟度別、自学形式、少人数対応等の中で、発展的な内容に取り組ませる。

(5) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実

- 場面に応じての、個に応じるためのT T、習熟度別での指導を推進する。
- 基礎テストや暗唱テストなどにおいて、個別指導と賞揚を大切にする。
- 学び直しの時間を確保する。
- 学習記録としてのノート指導を徹底する。
- 漢字の意味と漢字を連動させた指導を繰り返して行う。

2 全校体制の取組の視点から

(1) 研修・研究の在り方等について

- 積極的に他教科・他学年から学ぶため、教科・学年枠を超えた授業研究を行う。
- 研修会での話し合う活動においてはペア・グループ・全体等、協議の形態を工夫し、教師個々の考えが多く引き出される方法を取り入れる。
- 学年に応じたつきたい力を明確にし、学年を越えた研修の場において全体で共通理解する。
- 学校重点事項、共通実践事項を活用し、互いに授業を見合うフリー参観期間を設定するなどして、共通の実践による成果、課題を検証する。また、教科の授業の様子、生徒の様子を参観することにより、自身の指導に生かす。
- 一人一研究授業を推進する。

(2) ノート指導の充実等、各校の重点的な取組について

- ノート指導の取組、板書の仕方の情報交換・共通理解をし、学校内で統一感を持って指導する。
- 児童生徒には、自分の学習成果を振り返られるように学習の足跡を残す意味を指導する。
- 学び合いの場の設定を重点とする。
- 基礎定着のための朝学習の時間を全校体制で指導する。
- シート学習からノート指導中心の指導へ移行する。

(3) 小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

- 校内授業研究会に学年・教科を問わずに互いに参加しお互いの授業を見合う。
- 仙北市教科書センターを利用したり校種の違う教科書を購入したりして、他校種の教材研究や既習内容の確認をすることによって、義務教育9年間の系統性を確認する。

3 授業以外の学習機会の活用の視点から

- 朝の学習時間、放課後の時間を活用する。
- 長期休業中に学習相談期間を設け、個の学習上の課題の解決にあたる。
- 授業を含めた多様な学習機会を活用したときの学習内容、学習方法が、有機的に連結するように吟味し、それを学習（連結）計画表として明記する。
- 地域の人材を活用する。

2 学年・教科・区分・各設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについては、次の資料の活用を充実させる必要がある。

- 「平成25年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」
- 「平成25年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」
〈平成25年8月 文部科学省 国立教育政策研究所〉
- 「平成25年度 全国学力・学習状況調査 小学校の結果を踏まえた授業アイディア例」
- 「平成25年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイディア例」
〈平成25年9月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」
【小学校版】 〈平成22年12月 文部科学省〉
【中学校版】 〈平成23年 5月 文部科学省〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉

3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

(1)地域の人材活用と財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

また、平成25年度からは、各校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も予定している。各校での取組の充実が児童・生徒の生きる力の育成につながるよう働きかけていく。

(2)北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記Ⅳ－2の各種資料については、各校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

4 学校・家庭・地域の一層の連携

確かな学力の向上のためには、「基本的生活習慣」や「基本的学習習慣」の基盤の上に「学びのサイクルの習慣化」が必要である。これは授業を核として、授業日の家庭学習や長期休業中の学習、学校の始業前や放課後の学習が結びつけられ、関連し合って児童生徒の学びの機会が習慣化されていくことである。そのためには、学校・家庭・地域の一層の連携が必要である。

家庭では子どもの基本的生活習慣や学習習慣などに関心をもち、学校と協力して一層望ましい姿になるよう家庭教育を充実させることが望まれる。これについては、児童・生徒質問紙における「家での手伝いの実施」については肯定的回答が低い傾向にあったことも踏まえておきたい。放課後におけるスポ少活動や部活動との関係もあるが、児童生徒が就寝までの限られた時間の中で、家族の一員としての役割を果たしながら学習時間を確保できるよう家庭内でも協力していくことが望まれる。

仙北市の子どもたちが地域に対する愛着が深く、地域生活において多くの望ましい傾向がみられることは、地域住民の支えが大きく影響していると考えられる。この点からも、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深めることが重要であると考ええる。